

桑名文協

平成21年9月20日
第26号
桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<http://bunkyo-kuwana.jp>

三位一体でがんばろう

桑名市文化協会 会長 水谷 正



この度はからずも本会の会長という重責を担うことになってしまいました。私自身高齢であり、またこれといった芸術分野を持っておりませんので、あまり適任ではないと思っておりますが、加藤前会長のご指導や、役員・会員の皆さんのご支援をお願いして、非力ながら職務を務めさせていただく決心をいたしました。

私たちが住む桑名には、皆さん方のように演奏や上演を通じて、

また作品を創作して文化活動に取り組む人たちがおられます。またその舞台や作品を鑑賞して楽しんでくださる方もおられます。さらに労力や経済面で援助してくださる方々もおられます。文化のイベントはこの三種の人々が一つに結びついて協力し合うことにより盛り上がり、成功して地域全体を元気にすることにつながるのではないかと考えております。

この歴史と伝統文化に恵まれた桑名の特色を活かし、新しいジャンルの活動も積極的に取り入れて、一層の向上と発展ができますように、皆さんと一緒にがんばっていききたいと思います。

ご協力をお願いいたします。

副会長(広報担当)として

桑名市文化協会 副会長 中山 雅 幸

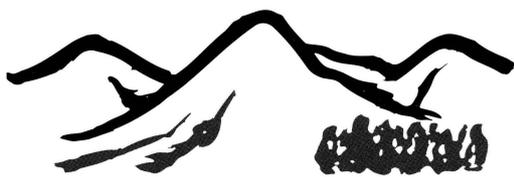


今年5月の総会で承認頂き副会長を務めさせて頂く事に成りました。微力ではありますが、桑名市文化協会により一層の発展の為に尽力して行きたいと思っておりますので、会員皆様方のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今回、水谷会長の新体制のもと、森副会長に代わり広報委員会を担当する事となりました。「桑名文協」第26号を9月中旬発行予定で第1回の広報委員会を7月23日に開催し、平成21年度の各部門委員に出席頂き、初顔合わせと共に原稿内容については協議しました。原稿内容についてはいろいろな意見が出されましたので、会員、市

民の皆様楽しんで頂ける「桑名文協」が発行できればと願っています。

また、会員の皆様には各団体の活動を積極的にアピールする観点からも原稿投稿をして頂きます様お願いいたします。



第18回 桑名市民芸術文化祭

プログラム

第18回 桑名市民芸術文化祭

水と緑と歴史が育む街・桑名

2009.9.26(土)~11.22(日)
2010.1.16(土)・1.17(日)

桑名市民会館・六華苑・くわなメディアライヴ
大山田コミュニティプラザ・多度公民館

主催/桑名市・桑名市教育委員会・桑名市文化協会

公認による大台典子さんの作品展です。

桑名市民文化協会

新書六華苑祭
2010.1.16(土)・17(日)
会場/六華苑
桑名市民文化協会

9/26(土) 18時30分(18時開場)	演劇「伊勢湾台風 9月26日 -50年のバトン-」 桑名市民会館 大ホール
10/17(土)~10/18(日) 17日 囲碁大会10時30分~18時 水石展9時~17時 18日 将棋大会10時30分~18時 水石展9時~15時	趣味教養祭 くわなメディアライヴ 多目的ホール
10/31(土) 10時30分~12時 (10時開場)	くわコレ2009 桑名市民会館 2階小ホール
10/31(土)~11/1(日) 10月31日 9時~17時 11月 1日 9時~15時	趣味教養祭 桑名市民会館 1階展示室
11/1(日) 9時20分~17時 (9時開場)	吟剣詩舞道の祭典 桑名市民会館 大ホール
11/2(月)~11/3(火・祝) 10時~16時	華道展 桑名市民会館 1階展示室 3階大会議室
11/3(火・祝) 10時~15時30分	茶道 六華苑 一の間・芝生庭園 桑名市民会館 3階和室
11/8(日) 13時~17時 (12時30分開場)	音楽のフルコース 大山田コミュニティプラザ
11/14(土)~11/15(日) 14日 13時~15時 15日 9時~16時30分	小倉百人一首かるた競技 六華苑 一の間
11/15(日) 13時30分~17時 (13時開場)	Fantasticステージ 「Cb, Mb, Jd」 桑名市民会館 大ホール
11/19(木)~22(日) 19日 12時~17時 20・21日 9時~17時 22日 9時~16時	美術部門展 くわなメディアライヴ 多目的ホール
11/21(土)~22(日) 21日 13時~16時 (12時開場) 22日 10時~16時 (9時開場)	芸能の祭典 桑名市民会館 大ホール
11/22(日) 11時~15時	食文化と芸能の交流 多度公民館
2010年3月発行	文協文芸 各公民館・センターに設置

●協賛事業

2009/10/4(日) 16時~20時30分 (受付19時45分まで)	月見茶会 桑名市民会館 3階 デッキテラス・大会議室
2009/10/4(日) 12時~15時	JCブラザーズ AUTUMNライブ くわなメディアライヴ 多目的ホール
2009/10/18(日) 15時(開場14時30分)	シャンテ・クレール 第21回演奏会 桑名市民会館 大ホール
2009/10/31(土) 14時(開場13時30分)	第10回演奏会 ~マンドリンで綴る うつくしのしらべ 日本と世界の美調~ 大山田コミュニティプラザ

市民芸術文化祭へのお誘い

演劇

「伊勢湾台風9月26日 —50年のバトン—

演劇部門

今枝 由佳

(劇団すがお)

演劇部門は市民
会館大ホールにて『伊
勢湾台風 9月26日
—50年のバトン—』を
上演いたします。



今年、伊勢湾台
風から50年経った
節目の年です。昭和
34年9月26日に東海
地方を襲ったこの台風15号は強風や河川の
氾濫を起し甚大な被害を与えました。桑
名市でも死者が1000人を超え、大きな
被害を受けました。各地で伊勢湾台風に関
する事業が行われていますが、私たちも今
回伊勢湾台風を扱った舞台に取り組みんで
おります。



伊勢湾台風当日
にタイムスリップした
現代の若者達が、台
風直撃の当日の様子
を目の当たりにしま
す。昭和34年の若者
達との交流を通じ必
死に生きようとする
姿を見て彼らは何を
思うのか。伊勢湾台
風を知らない若者達

の視点も加えお話は進んでいきます。

演劇を通じ伊勢湾台風直後の大変な状
況から復興に向け前向きに取り組まれた方々
の尽力に感謝するとともに、二度とこの災
害の悲劇が起こらないよう改めて防災に対
する意識を高めていただけたらと思います。

吟剣詩舞道の祭典

芸能II部門

尾崎 三千男

詩吟・剣舞・詩舞を愛好する仲間が一堂
に会して、市民会館大ホールで、十一月一日
の日曜日に「吟剣詩舞道の祭典」を開催し
ます。

仲間は、それぞれの教室で祭典に照準を
合わせて、熱のこもった練習をしています。

今年度の特別企画として、吟道関心流
では、「楠公父子・櫻井の別れ」と題した
構成吟を発表します。時は南北朝時代。
南朝の忠臣として歴史に名を残している楠
木正成・正行の忠節と悲哀を詩吟だけでな
く、剣舞、詩舞なども交えて発表します。

岳風流 桑名吟道会では、「吟聖木村岳
風」と題して構成吟を発表します。岳風
流の祖である木村岳風先生は数多くの名詩
を残しています。その中から心に浸みる詩
を選んで書道吟や舞と共に発表します。

今、私たちの悩みは、会員の高齢化と減
少であります。伝統芸能の継承を如何に進
めるかです。少しでも興味のある方は、是
非一度足を運び、出演者の爽やかな緊張感
を漂わせて人生を楽しんでいる姿をご覧にな
り、仲間になつてくださることを節に願つて
います。

洋舞の祭典

芸能III部門

金田 枝里香

現在、芸能III部門は(伊藤好子ダンシン
グステップ、武者真理子モダンバレエ、フラメ
ンコ・ルナ、ファイ・フラ・オ・レイアロハ、金
田枝里香バレエ教室、ラブリーフラ)六団体
で活動しています。

クラシックバレエは昨年より、文化協会に
加入させて頂き、秋の芸術文化祭に参加さ
せて頂きました。ジャンルを超えた皆さんと
の舞台から私も生徒たちも沢山得るものが
有り、成長が出来ました。この八月三十日
には、市民会館リニューアル二周年記念、ま
た秋には第十八回芸術文化祭が開催され、
第三部門は十一月十五日に参加します。全
てがそうだと思いますが、小さい頃からの積
み重ねだつたり、大人になつてから新たに挑
戦したりと始める時期は違つても、それに
対する熱意は皆一緒だと思えます。日々の稽
古の成果を発表する場を多く頂き、本当に
幸いです。益々会員一同が、
稽古に日々励んでい
ます。

今の世界情勢は
不景気一色で一番に
削除されがちな芸
術に理解を下さる
会員さんと、観にお
越し下さるお客様
が楽しい時を過ごせ
る様、情操を高め
る舞台創りに努力
し活動していきます。



寿ぐ「新春六華苑祭」

六華苑祭担当

副会長 荒木 敏文

新春六華
苑祭は6回目
を迎えます。

このイベントは
国の重要文化
財である「六
華苑」を会場
として、文化
協会会員の協
力により開催
しております。



例年、秋には、文化協会加盟団体各部
門の展示・舞台発表が、桑名市民会館、コ
ミュニティプラザ、メディアライヴ、六華苑で
開催され、多くの市民の皆様から好評を得
ているところであります。

六華苑祭は、加盟団体の有志が一堂に会
し、2日間にわたつて実施します。例年で
すと、和館二の間では、芸能I部門の日本
舞踊・箏曲・民謡・雅楽等をご披露し、
洋館一階ホールでは、フラダンス、また、音
楽の祭典としてマンドリン・フルート等の演
奏を行います。番蔵棟では、日本画・洋画・
写真・陶芸等の展示を、離れ屋では、お茶
会を、また、芝生会場では、元気な子ども
のキッズダンスを開催しております。300
名の会員の協力のもと開催する事業であり、
文化協会の重要な事業となっております。

第6回新春六華苑祭は、平成22年1月
16日・17日の2日間で開催します。新春を
寿ぐにふさわしい、明るく楽しい内容を計
画します。ご来苑お待ちしております。

平成21年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

団体名	事業名	開催期日
多度雅楽会	桑名六華苑 春の舞楽会	21/5/25~5/3
劇団すがお	劇団すがお第77回公演	21/7/10~7/11
ぐるつぷ雑劇	第28回 ぐるつぷ雑劇展	21/8/19~8/23
フランコ・コルナ	フランコ・バレエジャズダンス・コンサート リニユーアル2周年記念	21/8/30
桑名吹奏楽団	桑名吹奏楽団 第36回定期演奏会	21/10/4
装賀きもの学院	装賀きもの学院装賀会 (新小笠原流模擬結婚式)	21/12/6
桑名弦楽合奏団	桑名弦楽合奏団 第24回定期演奏会	21/12/20

この中の3部門の方々に活動紹介をしていただきます。

桑名六華苑 春の舞楽会

芸能I部門

田中松緑

(多度雅楽会)

晴天に恵まれた池泉回遊式庭園の新緑を背景にした春の舞台は、日本の楽園そのものです。

「文化芸術による創造のまち」文化庁支援事業として、復興した童舞(わらべまい)など、全8曲を2日間上演しました。本年は、天皇陛下即位20年、天皇皇后両陛下金婚式の年にあたり、皇室を祝賀する舞曲である「地久」(ちきゆう)を当会では初めて上演しました。

多度町の文化団体から桑名市文化協会に加入して早5年、会員の技量も充実してきました。

同協会育成補助金をもって、今回は高麗楽(こまがく)に、楽琵琶、楽箏が加わりました。
また、多度雅楽育成会として、市内外の多くの方々に御支援いただき、感謝しております。

鳳笙、箏、篳篥に笛などの楽器による音とともに、面、装束の美を楽しむ舞楽会は、華やかで、若者にも親しみやすく、幅広い世代が参加しています。歴史文化都市「桑名」の六華苑を背景にした音と舞の芸術として継承発展しつつ、今後全国に発信していきます。



メンデルスゾーン生誕二百年 財・功・恋・神

十二月二十日 市民会館大ホール

◆桑名弦楽合奏団 第二十四回定期演奏会◆

音楽部門

植村勉

(桑名弦楽合奏団)

この度は文化協会のお力を得て開催できます事を、とても心強く存じます。厚くお礼申し上げます。

さて、メンデルスゾーン以前の演奏会では、その日の為に作曲された演目が殆どでした。彼はバッハ等の古い時代の曲を多く再演し魅せました。これにより、自由で独自の表現を競うような「クラシック音楽」という今日の分野をつくったのでした。

指揮者としても活躍し、で出しの合図や拍子をとる程度の役割から、音楽表現を身体で指示する重要な位置づけに発展させました。

編成も10、20名程度であったものを、50名ぐらいに発展させて表現の幅を豊かにしました。そして楽団員の給与を上げ、年金や各種保険制度を整備して演奏レベルを飛躍的に上げました。

このような尽きない話で案内しながら彼の魅力に迫ります。是非、御運びください。



新小笠原流模擬結婚式

趣味教養部門

高村たまる

(装賀きもの学院装賀会桑名支部)

平成二十一年十二月六日(日) 桑名市民会館小ホールにて「新小笠原流模擬結婚式」を、一度是非ご覧いただきたく準備致しております。

室町時代より伝わる由緒正しい三献の儀を基本とした古く新しい結婚式です。

五つの「儀」で進行する厳かでわかりやすいスタイルが新鮮です。尚、花嫁モデルは、東海地区代表ミスきものの方をお願いしました。美しいモデルさんにも是非ご覧いただきたく心よりおさそい申し上げます。又当日きつけ舞と振袖の帯結びを舞台で8種程ご覧いただきます。

入場整理券ご購入の方は
0594-21-3203まで



自分で選べるシンプルでオーセンティックな挙式スタイルのご提案

文化の振興に貢献

文化協会会員の山本翠松さんが、伝統漆工芸の優れた功績を認められ、平成20年度の三重県文化奨励賞を受賞されました。

山本さんより寄稿いただきましたので、紹介いたします。

三重県文化奨励賞

美術部門

山本翠松



この度三重県文化奨励賞を賜り身に余る光栄に存じます。

私は塗師の家系に生まれ国の指定重要無形民俗文化財でもある石取祭車の漆塗りを代々手がけており、父である先代にその技術を学び、祭車の復元技術の継承に尽力してまいりました。

又時代の流れと共に、日本伝統漆芸展などの公募展などにも、入選させて頂きました。

更に力を入れてきました事は、茶

道でございます。茶道具を製作するにあたり、とても奥が深く、漆芸の世界と共に、茶道の心得も学び続けてまいりたいと思っております。

四月には、地元で初の桑名盆展を開催させて頂きました。

桑名市民の皆様始め多くの方々にお越し頂き深く感謝致しております。江戸時代から伝わる変わり塗りの技術を桑名盆や茶道具を中心に現代に生かし正しい技術を後世に残すよう心がけてまいりたいと存じます。

この表彰を頂きました事は、私にとりまして心機一転の節目でもあり大きな自信につながりました。感謝の念で一杯でございます。これから桑名の文化振興の向上発展に寄与し精一杯努力して行きたいと思っております。

今後共、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

この流儀紹介

茶華香道部門

水谷清彦

(竹真流)

桑名で花道の流祖がいたこと、皆さんご存じだろうか。それは竹真流と言います。時代は幕末で、伝馬町の寿量寺住職で則武日亮と言います。花形も他の流儀と異なりますが、古

風のなところも有りますが、時代に合った花も研究され、現代まで受け継がれてきました。当時代は習い事が盛んで、男女ともに多くの門人が育ちました。明治維新又戦災と一時途絶えましたが、終戦の混乱時代に会員を統一し再復活し、花も行動派的な自由花も取り入れ現在にいたっています。桑名市文化協会員として、文化祭、月釜華道展又、春季と秋季の花展又、名古屋三越花展と活動し、竹真流を引きついでいます。桑名にも多くの文人がいますが、花道にもいることを紹介します。一度竹真流花展に参観して、見て下さい。



平成21年度新入会員の紹介

(9月1日現在)

- 1個人・4団体の方々が入会されました。
- 伊藤美樹(音楽・クラリネット)
 - ハッピー(芸能Ⅰ・大正琴)
代表 蛭川 理都子
 - ラブリーフラ(芸能Ⅲ・ハワイアンフラダンス)
代表 水谷 巴美
 - 演劇集団Cブレンド(演劇)
代表 相原 千景
 - ハンズ大森(趣味教養・手芸)
代表 大森 妙子

ポスター入賞者表彰式



左から大橋教育長、大谷典子さん、水谷会長、今村副会長

今年度の文化祭ポスター原画には、市内在住の大谷典子さんが市長賞を受賞されました。大谷さんの作品は、水と緑と歴史の街・桑名の四季を感じさせる素晴らしい作品です。

佳作には、市内の山川慧大さんが選ばれました。

8月5日(水)に表彰式を行い、教育長と水谷会長、今村副会長に表彰していただきました。

桑名地名あれこれ

桑名の三崎

社会文化部門

大河内 浩

(個人会員)

本号より桑名の地名にまつわる色々なお話しをして、蘊蓄を深めていただければと思います。

江戸時代の初め、慶長年間に城下町として桑名の町割りがある以前、このあたりは大山田川や員弁川（町屋川）が流れ込んで、三つの洲にわかれていたようです。北から順に自凝洲崎・烏洲崎・泡洲崎と呼ばれ、現在も新町に泡洲崎八幡神社という神社があります。

江戸時代中期に編纂された「久波奈名所圖會」も、上巻は自凝洲崎、中巻は烏洲崎、下巻は泡洲崎という分類で、その中には「元亀・天正以前の古図」として、桑名城下市街地あたりが往年は三つの洲崎であった様子が描かれています。

三崎は桑名の古地名と言えますが、その名を今に伝える町名として、三崎通というところがあります。東海道からわかれて美濃街道へ向かうところの町内で、明治中期までは、さらに三つにわかれて



三崎通の面祭り

石取祭車三台を持ち、大正時代には三崎通商工会を形成するなど、春日神社からも財力のある町内とされてきました。桑名市街の年中行事などで常にリーダーシップを担ってきた町内で、町内所有の能面は後期桑名祭（二輛の楼車が戦災で消失して現在は式典のみ）に使われたもので、市文化財に指定されています。

ご賛助いただいております

特別会員の皆様

(五十音順)

9月1日現在

- 医療法人誠会 山崎病院様
- お菓子処 「和」様
- 力ネソウ株式会社様
- 株式会社 ケイディーエンジニア様
- 株式会社 山王鉄工所様
- 株式会社 東和様
- 株式会社 水谷精機工作所様
- 株式会社 レイ・ステージ桑名様
- 桑名信用金庫様
- 在日本大韓民国民団三重県桑名支部様
- 山内水園様
- 辻内鋳物鉄工株式会社様
- 兎月堂様
- 内藤株式会社様
- 花新江場中店様
- 花乃乃舎様
- 光精工株式会社様
- フジタ電業株式会社様
- 三重精機株式会社様
- 森田フードシステム株式会社様
- 有限会社 茶茂様

日頃のご協力に対しまして、深くお礼申し上げます。

編集後記

『城下町くわな』は不幸にして戦火を浴びた。しかし先人の努力で町のたたずまいを取り戻し市内を歩けば随所で文化の香りを見せる。くわなは古くから詩歌、美術、芸能などの分野に先人は大きな足跡を残す。

私たちはこれらを次代へ継承しなくてはならない。

「桑名文協」は26号を発行、市民とのパイプの役割を果たし、先年の合併によりそのパイプは多度、長島へ及ぶ。私たちは両町に眠る文化を掘り起こし文協への参加をうながしていくべきと思う。

その力と継承の力をゆるめてはならない。

(木原広志)

- 広報担当副会長 中山 雅幸
- 委員
- 文学部門 木原 広志
 - 美術部門 近藤 光治
 - 音楽部門 岡村 理恵
 - 芸能I部門 渡邊 法子
 - 芸能II部門 尾崎三千男
 - 芸能III部門 金田枝里香
 - 演劇部門 今枝 由佳
 - 社会文化部門 大河内 浩
 - 茶華香道部門 白木 宗弘
 - 趣味教養部門 加藤 誠